

2023年8月9日

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社

岩手県内企業景況調査－2023年7月調査－について ～ 業況判断BSIの現状判断は2期連続の改善、賃上げの動きも広がる ～

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社（代表取締役 佐々木泰司）は、四半期毎に実施している「岩手県内企業景況調査」の2023年7月調査結果を以下のとおり公表します。

1. 業況判断BSI

（1）現状判断

マイナス14.7 ⇒前回（2023年4月）調査比7.9ポイント上昇

（2）先行き判断

マイナス20.6 ⇒現状比5.9ポイント低下

2. 経営上の問題点

「原材料・仕入価格の上昇」：67.1%、「従業員の確保難」：51.2%、
「人件費の増加」：45.9%

3. 賃上げの状況

「実施する」：81.0%、「実施しない」：13.7%、「未定」：5.4%

※四捨五入の関係で合計が100%にならない

本調査の調査要領と調査結果の要約は別紙のとおりです。

詳しくは8月31日に弊社ホームページへ掲載する「Research Report 2023年9月」をご覧ください。

《問い合わせ先》
いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社
経営支援部 地域経済調査担当 阿部 瑛子
TEL：019-622-1212 FAX：019-654-8059

2023年8月9日

岩手県内企業景況調査
－2023年7月調査－

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社
代表取締役 佐々木 泰司
盛岡市中央通一丁目2番3号
(担当 経営支援部 地域経済調査担当 阿部 瑛子)
TEL 019-622-1212

< 調査要領 >

調査内容	1. 県内企業の業況や雇用人員等の現状判断（2023年7月時点）と今後3カ月間の先行きに対する判断、前年同期と比較した23年4～6月期の売上高等の実績と同年7～9月期の見通し 2. 経営上の問題点 3. 賃上げの状況		
調査時期	2023年7月 調査周期：四半期毎（1、4、7、10月）	調査方法	Web、郵送
調査対象企業	341社	回収率	49.9%（170社）
回答企業数	製造業 57社 非製造業 113社（建設業22、卸・小売業64、運輸・サービス業27）		

※BSI（Business Survey Index：景況判断指数）

企業の業績等に関する判断を指標化したもので、「プラス（良い、過剰、増加、上昇等）」と回答した企業の割合から、「マイナス（悪い、不足、減少、低下等）」と回答した割合を差し引いた値

< 調査結果の要約 >

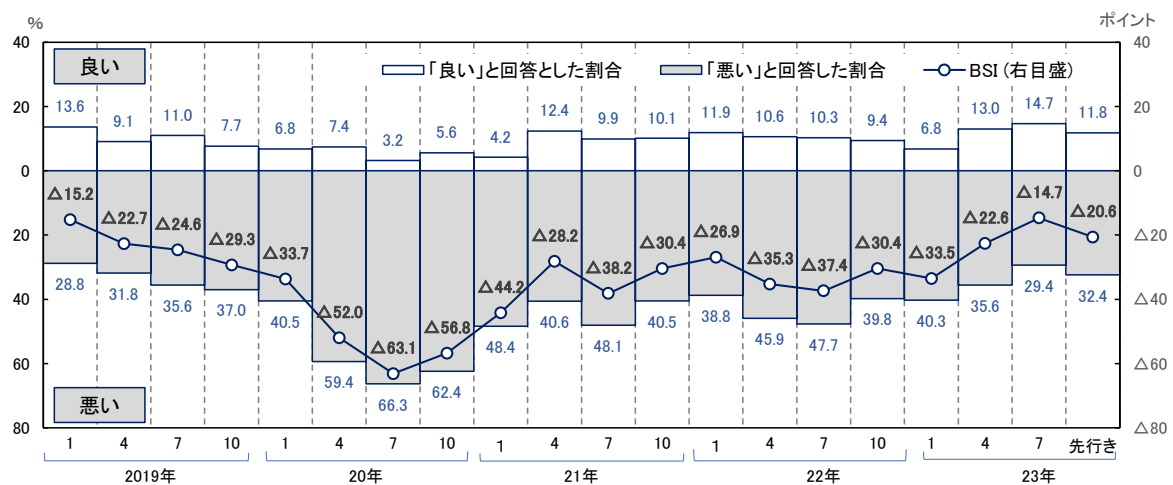
1. 業況判断BSI ～現状判断は2期連続で改善～

県内企業における業況判断BSIの現状判断（2023年7月時点）はマイナス14.7と前回調査（23年4月、マイナス22.6）を7.9ポイント（以下、p）上回り、2期連続で改善した（図表1）。

今回調査では、依然として企業の収益環境の厳しさは見られるものの、新型コロナウイルスが「5類感染症」へ移行となるなか需要の拡大など経済活動の活発化に伴って製造業を中心に景況感が改善した。

今後3カ月間の先行きの業況判断BSIはマイナス20.6と現状から5.9p悪化する見通しである。製造業は景況感が改善するとみられる一方、非製造業は悪化が見込まれる。

図表1 業況判断BSIの推移（全産業）



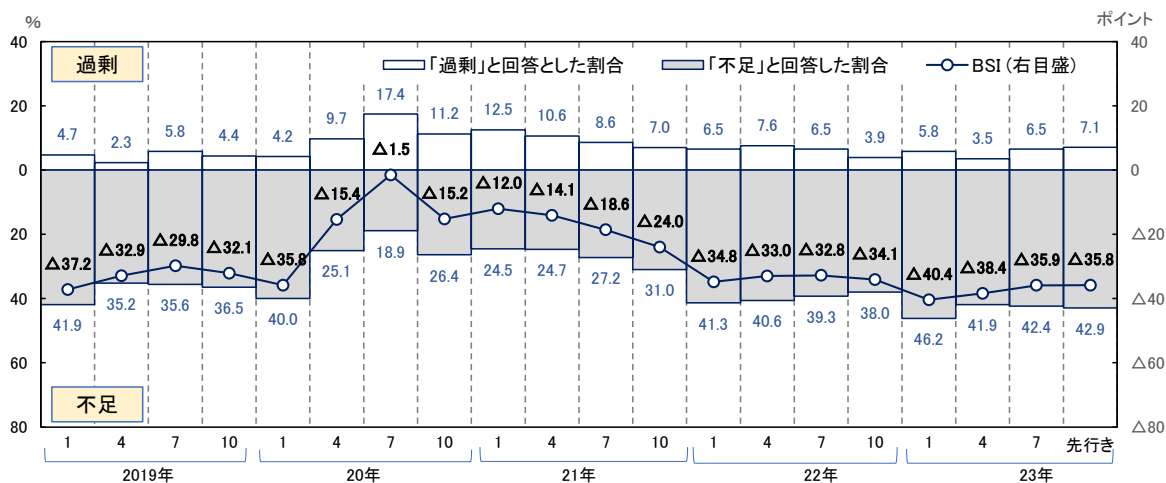
(注) 「悪い」の割合は下方向に表示している

2. 雇用人員BSI ～人手不足感は依然として強い～

雇用人員BSIの現状判断は前回（マイナス38.4）から2.5p上昇のマイナス35.9となり、マイナス幅は縮小したものの依然として企業の人手不足感が強い状況は継続している（図表2）。

先行きの雇用人員BSIはマイナス35.8と現状と同水準で推移する見通しである。

図表2 雇用人員BSIの推移（全産業）



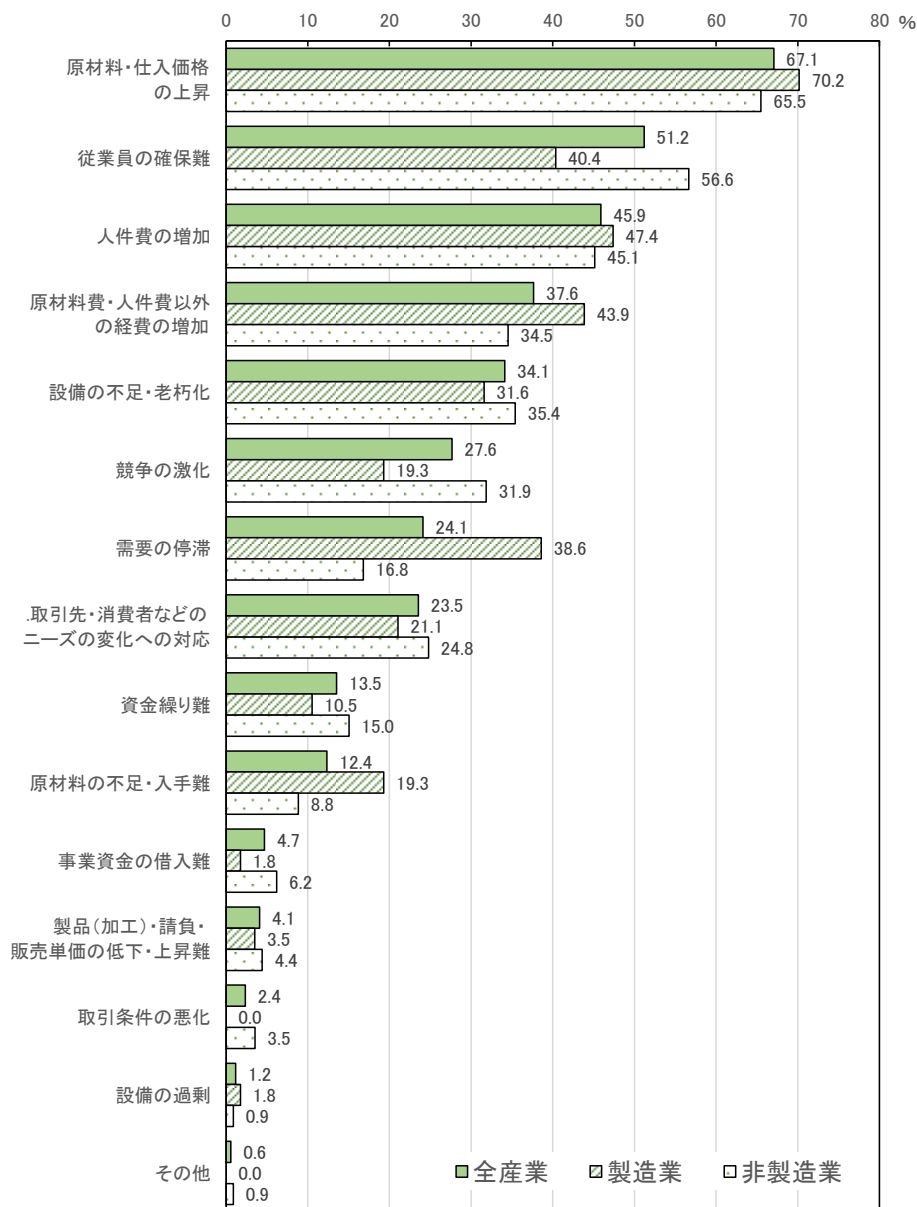
(注) 「不足」の割合は下方方向に表示している

3. 経営上の問題点 ～ヒト・モノが上位に～

現在の企業経営上の問題点については、「原材料・仕入価格の上昇」が最も多く67.1%となり、次いで「従業員の確保難」が51.2%、「人件費の増加」が45.9%などとなった（図表3）。

産業別にみると、製造業は「原材料・仕入価格の上昇」が70.2%と7割超を占め、次いで「人件費の増加」が47.4%、「原材料・人件費以外の経費の増加」が43.9%と続いた。また、「需要の停滞」が38.6%と非製造業と比較して高い割合となった。非製造業では「原材料・仕入価格の上昇」が65.5%で最も多く、次いで「従業員の確保難」が56.6%、「人件費の増加」が45.1%などとなった。

図表3 経営上の問題点（複数回答）



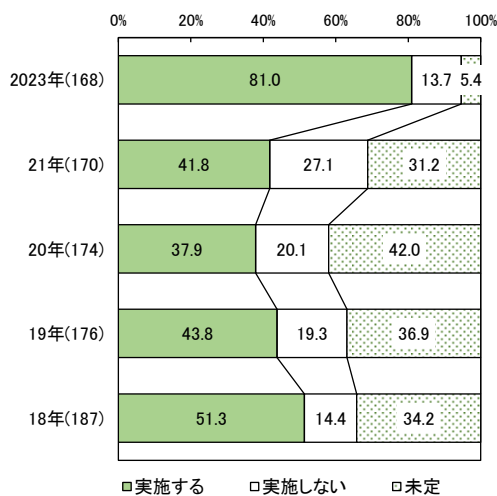
4. 賃上げの状況 ～賃上げの動きが広がる～

2023年度に賃上げ（予定含む）を「実施する」と回答した県内企業の割合は81.0%、「実施しない」が13.7%、「未定」は5.4%となった（図表4）。「実施しない」の割合は比較可能な14年以降で最も少なくなり、物価の高騰や人手不足などを背景に賃上げの動きが広がっているとみられる。

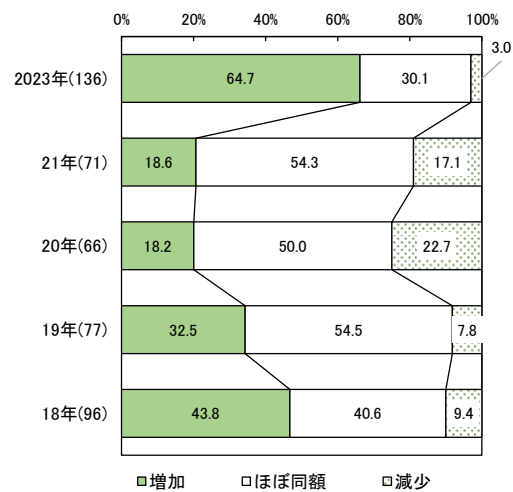
賃上げを実施する企業における前年実績と比較した賃上げ額は「増加」が64.7%、「ほぼ同額」が30.1%、「減少」が3.0%となった（図表5）。「増加」の割合が6割超と前回調査（21年4月）から大幅な上昇となったほか新型コロナウイルス感染拡大前の18年、19年との比較でも高い水準となった。また、「減少」はコロナ禍であった前回調査から大きく縮小した。

賃上げを実施する理由は「従業員のモラル向上」が50.0%で最も多く、次いで「優秀な従業員の確保」が46.3%、「業績に関わらず毎年実施」が27.2%などとなった（図表6）。また、「その他」が15.4%となり、要因として物価の高騰や最低賃金の上昇を挙げる回答が見られた。一方、実施しない理由は「景気の先行きが不透明」が65.2%で最多となったほか「業績が不振」が52.2%となり、コロナ禍であった20年、21年と同様に景気や業況に関する理由が多数を占めた（図表7）。また、「原材料等のコストの上昇」が17.4%と20年、21年の調査と比べて高い割合となった。

図表4 賃上げの実施状況



図表5 賃上げ額の増減



図表6 賃上げを実施する理由

理由	2020年 (66)	21年 (71)	23年 (136)	(%・ポイント)
				前回 調査比
従業員のモラル向上	65.2	59.2	50.0	△9.2
優秀な従業員の確保	47.0	56.3	46.3	△10.0
業績に関わらず毎年実施	39.4	36.6	27.2	△9.4
業績が良好	10.6	4.2	14.0	9.8
景気回復への期待感	4.5	8.5	8.8	0.3
その他	3.0	4.2	15.4	11.2

図表7 賃上げを実施しない理由

理由	2020年 (35)	21年 (46)	23年 (23)	(%・ポイント)
				前回 調査比
景気の先行きが不透明	51.4	54.3	65.2	10.9
業績が不振	48.6	47.8	52.2	4.4
現在の雇用を維持	31.4	45.7	26.1	△19.6
原材料等のコストの上昇	8.6	6.5	17.4	10.9
設備投資等を優先	5.7	4.3	0.0	△4.3
その他	0.0	6.5	8.7	2.2

※ 図表4～7

(注) 1. 2018～21年は4月調査、23年は7月調査 2. ()内は回答企業数
3. 図表4、5は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある 4. 図表6、7は複数回答

【参考】調査結果一覧（BSI）

BSI	産業(業種)	(ポイント)		
		現状判断		先行き
		2023年 4月調査	23年 7月調査	今後 3カ月間
業況判断 「良い」-「悪い」	全産業	△22.6	△14.7 □	△20.6 ■
	製造業	△29.1	△7.0 □	△3.5 □
	非製造業	△19.1	△18.6 □	△29.2 ■
	建設業	△18.5	△9.1 □	△45.4 ■
	卸・小売業 運輸・サービス業	△19.3 △19.2	△20.3 ■ △22.2 ■	△18.8 □ △40.7 ■
雇用人員 「過剰」-「不足」	全産業	△38.4	△35.9 □	△35.8 □
	製造業	△26.2	△14.0 □	△17.6 ■
	非製造業	△45.0	△46.9 ■	△45.1 □
	建設業	△46.2	△45.5 □	△36.4 □
	卸・小売業 運輸・サービス業	△42.6 △50.0	△46.9 ■ △48.2 □	△46.8 □ △48.2 -
製品・商品在庫 「過剰」-「不足」	全産業	△0.8	2.3 □	△2.3 ■
	製造業	1.6	3.5 □	△1.8 ■
	非製造業	△2.7	1.3 □	△2.6 ■
	建設業	-	-	-
	卸・小売業 運輸・サービス業	△3.2 0.0	0.0 □ 8.4 □	△3.1 ■ 0.0 ■
生産・営業用設備 「過剰」-「不足」	全産業	△5.7	△4.7 □	△6.5 ■
	製造業	1.6	△7.0 ■	△12.3 ■
	非製造業	△9.6	△3.6 □	△3.5 □
	建設業	3.7	9.1 □	4.6 ■
	卸・小売業 運輸・サービス業	△11.3 △19.2	△4.7 □ △11.1 □	△3.1 □ △11.1 -
資金繰り 「楽」-「苦しい」	全産業	△5.0	△10.6 ■	△13.6 ■
	製造業	△1.6	△8.8 ■	△12.3 ■
	非製造業	△7.0	△11.5 ■	△14.1 ■
	建設業	0.0	9.1 □	9.1 -
	卸・小売業 運輸・サービス業	△3.2 △23.1	△10.9 ■ △29.6 ■	△12.5 ■ △37.0 ■

BSI	産業(業種)	(ポイント)		
		実績		先行き
		2023年 1~3月期	23年 4~6月期	23年 7~9月期
売上高 「増加」-「減少」	全産業	10.2	3.6 ■	1.1 ■
	製造業	19.4	21.1 □	24.6 □
	非製造業	5.3	△5.3 ■	△10.6 ■
	建設業	△22.2	△54.5 ■	△68.2 ■
	卸・小売業 運輸・サービス業	19.4 0.0	14.0 ■ △11.1 ■	7.8 ■ △7.4 □
経常利益 「増加」-「減少」	全産業	△17.7	△7.6 □	△15.3 ■
	製造業	△12.9	1.8 □	0.0 ■
	非製造業	△20.4	△12.4 □	△23.0 ■
	建設業	△37.1	△45.5 ■	△63.6 ■
	卸・小売業 運輸・サービス業	△1.6 △46.2	- △11.1 □	△14.1 ■ △11.1 -
製造費用・販管費 「増加」-「減少」	全産業	50.8	45.9 ■	45.3 ■
	製造業	62.9	54.4 ■	56.2 □
	非製造業	44.3	41.6 ■	39.8 ■
	建設業	33.3	31.8 ■	18.2 ■
	卸・小売業 運輸・サービス業	50.0 42.3	46.8 ■ 37.1 ■	50.0 □ 33.3 ■
販売価格 「上昇」-「低下」	全産業	41.8	49.4 □	50.6 □
	製造業	54.8	50.8 ■	52.6 □
	非製造業	34.7	48.7 □	49.6 □
	建設業	33.3	45.5 □	36.4 ■
	卸・小売業 運輸・サービス業	48.4 3.9	65.6 □ 11.1 □	65.7 □ 22.2 □
仕入価格 「上昇」-「低下」	全産業	82.2	80.0 ■	71.1 ■
	製造業	82.0	71.9 ■	61.4 ■
	非製造業	82.3	84.1 □	76.1 ■
	建設業	92.6	95.5 □	77.3 ■
	卸・小売業 運輸・サービス業	83.6 68.0	84.4 □ 74.1 □	79.7 ■ 66.7 ■

(注) 1. 「□」はBSIの上昇、「■」は低下、「-」は横ばいを示す
 2. 製品・商品在庫BSIは在庫管理等がない企業は集計対象から除いている